



概要

愛知県東三河地域と三重県伊勢志摩地域を結ぶ「鳥羽伊良湖航路」は、昭和39年に民間会社により開設され、長きにわたり両地域を結ぶ唯一の海上交通機関として、観光客の航送、水産・海産物や工業用資材、農畜産物等の物流等の機能を発揮し、地域の発展に多大な役割を果たしてきた。しかし、近年進められてきた道路網の整備等により、航路から陸路への利用転換が大きく進み、航路の経営環境を悪化させている。

本航路は、今後も両地域の活性化に必要な交通であるため、旅客及び貨物の利用実態に関する調査、潜在需要の開拓と旅行商品化に関する調査、航路情報の発信及び誘導強化に関する調査等を実施し、本航路の利用増加策に関する検討を行う。

○地域公共交通の現況

鳥羽伊良湖航路利用者は、ピーク時の平成6年には車両の航送台数が224,833台、総旅客数1,158,142人となっていたが、平成21年では車両が83,264台（平成6年対比で63%減）、総旅客数が352,921人（同70%減）と大きく減少している。

○地域公共交通の課題

陸路利用に比べ料金的・時間的優位性が乏しい中で、陸路への利用転換に歯止めをかける利用促進策の早期実施

○調査の主な内容

- ・旅客及び貨物の利用実態に関する調査
- ・潜在需要の開拓と旅行商品化に関する調査
- ・航路情報の発信及び誘導強化に関する調査
- ・航路の快適性向上に関する調査 等

○地域公共交通総合連携計画の策定

航路利用を促進する下記の方針を掲載予定

- ・旅行商品の造成と展開
- ・航路情報の発信及び誘導強化
- ・航路の快適性向上 等

